

# 令和2年度行政評価外部評価報告書 (案)

令和3年3月 日

江別市行政改革推進委員会



江別市長 三好 昇 様

江別市の行政評価に関して、行政改革推進委員会による外部評価を実施し、このたび評価結果を取りまとめましたので報告いたします。

令和3年3月 日

江別市行政改革推進委員会

委員長	千	里	政	文
委員	吉	川	哲	生
委員	伊	藤	祥	子
委員	坂	上	伸	也
委員	野	村	奈	津子
委員	白	川	典	子
委員	神	保	正	志

## 目 次

1.	行政評価外部評価の目的	3
2.	外部評価の基本方針	3
3.	外部評価の実施方法	3
4.	行政改革推進委員会の構成	5
5.	外部評価の対象	5
6.	行政改革推進委員会における外部評価に係る審議経過	6
7.	新型コロナウイルス感染症による影響と今後の対応	6
8.	令和3年度対象予定事業の選定	7
9.	令和2年度外部評価結果(総括)	7
	<b>【えべつ未来戦略 戦略3】</b>	
	子どもから大人までいきいきと健康に暮らせるまちづくり	
	(1) 健康増進活動の推進	
	健康づくり推進事業	8
	(2) 疾病予防・重症化予防の促進	
	一般介護予防事業	9
10.	事務事業評価表	10

### 1. 行政評価外部評価の目的

江別市行政評価制度において、評価の客観性及び信頼性を確保するために、行政外部の専門家及び市民の視点で評価を行うことを行政評価外部評価（以下「外部評価」という。）の目的とする。

### 2. 外部評価の基本方針

平成27年2月に策定された「第6次江別市総合計画における行政評価外部評価制度のあり方検討結果報告書」（江別市行政評価外部評価委員会）に基づき、外部評価の基本方針を次のとおりとする。

外部評価の種類（方式）
内部評価結果の検証により評価の質を向上させる分析強化型の手法を基本としつつ、必要に応じて事業の改善を求めていく市民協働型の要素も取り入れた方式とする。
外部評価の対象
「えべつ未来戦略」を基本的に外部評価の対象とし、必要に応じて「まちづくり政策」からも重要度等を勘案して対象事業として選定することができることとする。
外部評価の対象の選定方法
令和元年度中間見直し後の第6次総合計画における未来戦略は、3つの戦略で構成されているため、令和2年度から令和4年度までの3年間で3つの戦略を計画的に選定し、評価対象とする。

### 3. 外部評価の実施方法

平成27年度から平成29年度にかけて第6次総合計画における前半5年間の未来戦略を対象とした外部評価（以下「前回評価」という。）を実施しており、前回評価と同様に、対象事業に係る事務事業評価表の精査及びヒアリング等により内部評価結果の検証を行う。

なお、平成30年1月に策定された「第6次江別市総合計画における行政評価外部評価結果報告書（平成27～29年度）」（江別市行政評価外部評価委員会）では、外部評価の実施方法に関する提言や、多くの事業に共通する指摘事項が示されていることから、これらの提言等を踏まえた実施方法とする。

#### 【実施方法に関する提言内容（要旨）】

- 外部評価については、担当部局へのヒアリング調査を中心とした制度運用に取り組んでいただきたい。
- 外部評価結果については、翌年度の事務事業評価結果に反映させる運用となっているが、当該年度から反映できるような外部評価制度の設計を検討願う。

【実施方法の変更・改善点】

項目	変更・改善点
外部評価を実施する委員会	市では、行政改革推進計画に外部評価の充実に向けて取り組むことを掲げていることから、同計画に基づき適正な外部評価が行われるよう、同計画を所管する行政改革推進委員会が外部評価を実施する。
ヒアリングを中心とした外部評価	<p>前回評価では、未来戦略構成事業の全てを評価対象としたため、書面調査のみで外部評価を実施した事業が多数あったことと、ヒアリングを行った事業においても、事業数の多さから1事業あたりのヒアリング時間が短時間にとどまった。</p> <p>そのため、今回の外部評価では、評価する事業を抽出したうえで、評価事業全てに対してヒアリングを行うとともに、ヒアリングにあたって一定の時間を確保するよう努める。</p>
外部評価結果の迅速な反映	<p>前回評価では、評価事業が多数あったため評価作業に要する期間が長く、外部評価結果が取りまとまるのが年度末となり、評価結果に基づく改善が反映されるのは翌年度以降となっていた。</p> <p>今回は、評価事業を抽出することにより評価にかかる期間を短縮化し、可能な限り当該年度の内部評価（毎年2月頃に実施する新年度予算）から反映できるよう努める。</p>
外部評価の視点	<p>これまでの評価の視点を基本としつつ、前回評価で多く指摘されていた事項に係る検証を重点項目として追加する。</p> <p><b>【外部評価の視点】</b></p> <p>①市の資料・説明は丁寧で分かりやすいか          &lt;重点項目&gt;・分かりにくい専門用語や説明不足の有無          ・事業を取り巻く状況についての適切な説明</p> <p>②対象・意図・手段のつながりは適切か</p> <p>③成果指標の変動要因や事業の課題の把握ができているか          &lt;重点項目&gt;・進捗状況を示す適切な指標の設定          ・数値で表すことができない成果の文章説明</p> <p>④戦略プロジェクト等の方向を示す指標は適切か</p>

#### 4. 行政改革推進委員会の構成

人数：7名

任期：令和2年10月16日～令和5年3月31日

役職	氏名	所属団体等
委員長	千里政文	北翔大学生涯学習学研究科 教授
委員	吉川哲生	札幌学院大学経営学部 准教授
委員	伊藤祥子	江別消費者協会 事務局長
委員	坂上伸也	連合北海道江別地区連合 副会長
委員	野村奈津子	札幌司法書士会 司法書士
委員	白川典子	公募委員
委員	神保正志	公募委員

#### 5. 外部評価の対象

これまでの外部評価の実施実績等を勘案し、令和2年度は戦略3、令和3年度は戦略2、令和4年度は戦略1について外部評価を実施することとした。

また、令和2年度の外部評価について、未来戦略上の位置付け等を勘案し、戦略3に掲げる2つの具体的施策のうち(1)健康増進活動の推進から健康づくり推進事業、(2)疾病予防・重症化予防の促進から一般介護予防事業を対象事業として選定した。

##### 【令和2年度外部評価対象事業】

戦略3 子どもから大人までいきいきと健康に暮らせるまちづくり	対象
(1) 健康増進活動の推進	
総合特区推進事業	
健康教育事業	
健康づくり推進事業	○
生涯活躍のまち整備事業	
(2) 疾病予防・重症化予防の促進	
健康都市推進事業	
成人検診推進事業	
特定健康診査等事業	
一般介護予防事業	○

## 6. 行政改革推進委員会における外部評価に係る審議経過

日 時	内 容
令和2年 10月16日(金) 10:00~11:55	<b>【第1回行政改革推進委員会】</b> ・ 委嘱状交付、委員長の選出、 ・ 行政評価外部評価について ①外部評価の実施方法について ②外部評価のスケジュールについて ③令和2年度外部評価の対象事業について
令和3年 2月22日(月) 13:30~16:00	<b>【第2回行政改革推進委員会】</b> ・ 外部評価ヒアリング ①健康づくり推進事業 ②一般介護予防事業 ・ 令和3年度外部評価対象予定事業について
令和3年 3月 日( ) 書面会議	<b>【第3回行政改革推進委員会】</b> ・ 外部評価結果の取りまとめ

## 7. 新型コロナウイルス感染症による影響と今後の対応

北海道における新型コロナウイルス感染症拡大の状況を受け、令和2年12月に開催を予定していた第2回行政改革推進委員会を令和3年2月に延期したことから、令和2年度の外部評価結果に基づく修正等は、令和3年度の内部評価から対応することとした。

また、新型コロナウイルス感染症の影響が市の事業全般に及んでいることから、令和3年度の外部評価においては、感染症の影響などの特別な事情を考慮し、定量面・定性面の両方を含めた総合的な評価を行っているかどうか検証する方針とした。



## 8. 令和3年度対象予定事業の選定

外部評価の実施実績及び未来戦略上の位置付け等を勘案し、令和3年度は戦略2に掲げる3つの具体的施策のうち(1)未就学期児童への支援から子育て世代包括支援事業、(2)教育内容の充実からスクールソーシャルワーカー事業、(3)学齢期児童への支援から放課後児童クラブ運営費補助金を対象予定事業として選定した。

### 【令和3年度外部評価対象予定事業】

戦略2 安心して子どもを産み育てることができるまちづくり	対象
(1) 未就学期児童への支援	
待機児童解消対策事業	
子育て世代包括支援事業	○
(2) 教育内容の充実	
小中学校外国語教育支援事業	
小中学校学習サポート授業	
スクールソーシャルワーカー事業	○
医療的ケア児支援事業	
(2) 学齢期児童への支援	
放課後児童クラブ運営事業	
放課後児童クラブ運営費補助金	○
児童館地域交流推進事業	

## 9. 令和2年度外部評価結果（総括）

### (1) 各事業に対する提言

今回評価した両事業に共通して、「成果動向及び原因分析」欄の記載量が少なく、事業の進捗状況や評価理由に関する説明が十分ではないと感じられた。各事業とも、アンケート等により参加者の満足度などを把握していることから、成果指標に設定した数値だけでなく、多面的な評価を考慮すべきという意見があった。

また、ヒアリング時の説明内容と事務事業評価表の「手段」欄や「事業内容（主なもの）」欄の記載内容が整合していない部分があるため、市民が事業内容を理解できるよう、「手段」等の記載方法の工夫・見直しが必要と感じられた。

なお、各事業に対する評価結果は、8～9ページに記載のとおりである。

### (2) その他の提言

内部評価結果の検証のため、成果指標等の内訳を確認できる説明資料の整備等を検討願いたい。

また、事務事業評価表や説明資料の文字が小さいと感じられるため、できるだけ見やすくなるよう検討してほしいという意見もあった。

令和2年度行政評価外部評価結果

戦略	3 (1) 健康増進活動の推進
事業名	健康づくり推進事業
担当課	保健センター (健康づくり・保健指導担当)
内部評価への提言等	<p>【視点①】 事務事業評価表のわかりやすさ          &lt;重点項目&gt; 分かりにくい専門用語や説明不足の有無          事業を取り巻く状況についての適切な説明</p> <p>・費用内訳は、人件費や委託料など費目毎に記載するのではなく、事業内容毎の費用を記載した方が分かりやすいと考えられる。</p>
	<p>【視点②】 対象・意図・手段の設定</p> <p>・対象指標1「地域健康づくり推進員事業実施回数」は、活動指標に設定した方が適切と考えられる。(なお、補助金額は、費用内訳で把握することができる。)</p>
	<p>【視点③】 成果指標の変動要因や事業の課題の把握          &lt;重点項目&gt; 進捗状況を示す適切な指標の設定          数値で表すことができない成果の文章説明</p> <p>・事業の成果動向等については、数値の変動要因に留まらず、アンケートを通じて得られた事業参加者の評価なども含めて多面的に分析し、広くとられた記載欄を活用してできるだけ詳細に記載した方が良い。</p>
	<p>【視点④】 事業の方向を示す指標は適切か</p> <p>・「成果向上余地 小」、「コスト削減方法 なし」としているが、他部署との連携など幅広い視点で検討する必要がある。</p>
	<p>その他の意見・提言</p> <p>・オンラインなど様々な方法によりコロナ禍でも市民が参加できる実施方法を検討して欲しい。なお、実施に際しては、視聴方法等についても丁寧に説明することが望ましい。</p>

令和2年度行政評価外部評価結果

戦略	3 (2) 疾病予防・重症化予防の促進	
事業名	一般介護予防事業	
担当課	介護保険課 (地域支援事業担当)	
内部評価への提言等	<p>【視点①】 事務事業評価表のわかりやすさ          &lt;重点項目&gt; 分かりにくい専門用語や説明不足の有無          事業を取り巻く状況についての適切な説明</p> <p>・平成31年度と令和元年度の二つの表記が混在しているので、統一した方がよい。</p>	
	<p>【視点②】 対象・意図・手段の設定</p> <p>・提言等なし</p>	
	<p>【視点③】 成果指標の変動要因や事業の課題の把握          &lt;重点項目&gt; 進捗状況を示す適切な指標の設定          数値で表すことができない成果の文章説明</p> <p>・事業の成果動向等については、数値の変動要因に留まらず、アンケートを通じて得られた事業参加者の評価なども含めて多面的に分析し、広くとられた記載欄を活用してできるだけ詳細に記載した方がよい。</p>	
	<p>【視点④】 事業の方向を示す指標は適切か</p> <p>・提言等なし</p>	

その他の意見・提言	<p>・オンラインなど様々な方法によりコロナ禍でも市民が参加できる実施方法を検討して欲しい。なお、実施に際しては、視聴方法等についても丁寧に説明することが望ましい。</p>
-----------	--